

日本高専学会第27回年会講演会参加報告

技術第3班 伊藤 眞子

1 目的

日本高専学会が設立される前は、高専の教職員は各種学会、文部省・国専協の教育研究集会、あるいは「高専教育」誌等を通じて研究や意見を発表してきたが、高専プロパーの諸問題については十分討議、発表する場がなかったとのこと。高専を共通の土俵にして教育・研究について発表する場を構築することは極めて大事なことと考え「日本高専学会」が設立された。

その目指すべき特色ある教育と研究の充実に邁進したいと考え、毎年年会講演会が開催されている。当年会講演会は、全国の高専の技術職員も多数参加しており、技術職員としての各校の業務の特色を知り業務の参考にすることや発表することによりご助言頂けることを目的に参加した。

2 開催日時・会場

令和3年9月3・4日（金・土）

富山高専 オンライン開催

3 講演会内容

9月3日（金）

9：00～10：00 一般講演①

10：15～11：00 一般講演②

11：10～12：40 ポスター発表

13：40～14：40 ポスター発表質疑応答

14：40～15：00 開会行事

15：00～16：30 基調講演

「高専の未来とダイバーシティー」

富山高専 賞雅寛而 校長

9月4日（土）

9：00～10：00 一般講演③

10：15～11：00 一般講演④

11：05～11：15 閉会行事

4 講演会に参加して

申し込み時点では対面とオンラインのハイブリッド開催の予定だったが、コロナウィルス感染症拡大のためにオンライン発表のみによる開催となった。自身の発表は2日目の一般講演③に割り当てられ「研究・技術支援に係る地域連携活動の一考察」と題して発表した。質疑応答時間では足りない程、質問や助言を頂き今後の活動のために大変参考になった。他高専の技術職員の発表は出前実験・講座に関するタイトルが多く、技術的な又は授業に関する発表は教員との連名も多かったため、教員と共に発表できる取り組みも考えていきたい。初めて当学会の講演会に参加したが、終始和やかで発言などしやすく、また高専ならではの課題発表も散見され、高専学生のために地域のために奮闘する教員と技術職員の発表を伺い大変刺激を受けたため、来年も是非参加したいと感じた。

当学会の講演会に参加し得たことを今後の技術職員としての業務に役立てていきたい。